

Zoo Zoom おびひろ

☆クイズ☆ わたしはだれでしょう？

くちばし



あし



おばね



ヒント♪ いつも「ワシタカ舎」でくらしているよ。
答えは正解の動物近くに掲示してあります。

獣医つれづれ日記 vol.5

～ 赤いテープの謎～

ニホンザルの子が腕にケガを負う事件が多発。どうやら暴カザルがいるようです。困った事だ、と嘆きつつ、ケガをした子ザルを捕獲し、傷を治療します。が、その後、包帯などしてもサルははずしてしまいます。そこで登場したのが赤いビニールテープ。グルグル巻いてピッタリ止めれば、サルでもなかなかはずせません。しかも不思議なことに、赤いテープを巻いた子ザルはそれ以上攻撃されないようです。



多いときには5頭の治療。飼育員みんなでサルを部屋に追い込み、治療するサルを捕獲、順番に麻酔して治療、毛布に寝かせて覚醒を待つ、という流れ。数日ごとにくりかえすうちに、各担当の手際がよくなり、作業はとてもスムーズに。

ケガは順調に治るのですが、テープをはずしたとたん再び攻撃されてしまったことがあります。やはり、犯人は赤いテープが嫌いなのか？…謎です。 獣医師 M.S

おびひろ動物園情報誌 Zoo Zoomおびひろ 平成25年度夏号

発行日 平成25年7月1日

編集・発行 おびひろ動物園 〒080-0846 帯広市緑ヶ丘2番地

TEL: 0155-24-2437 E-mail: zoo@city.obihiro.hokkaido.jp

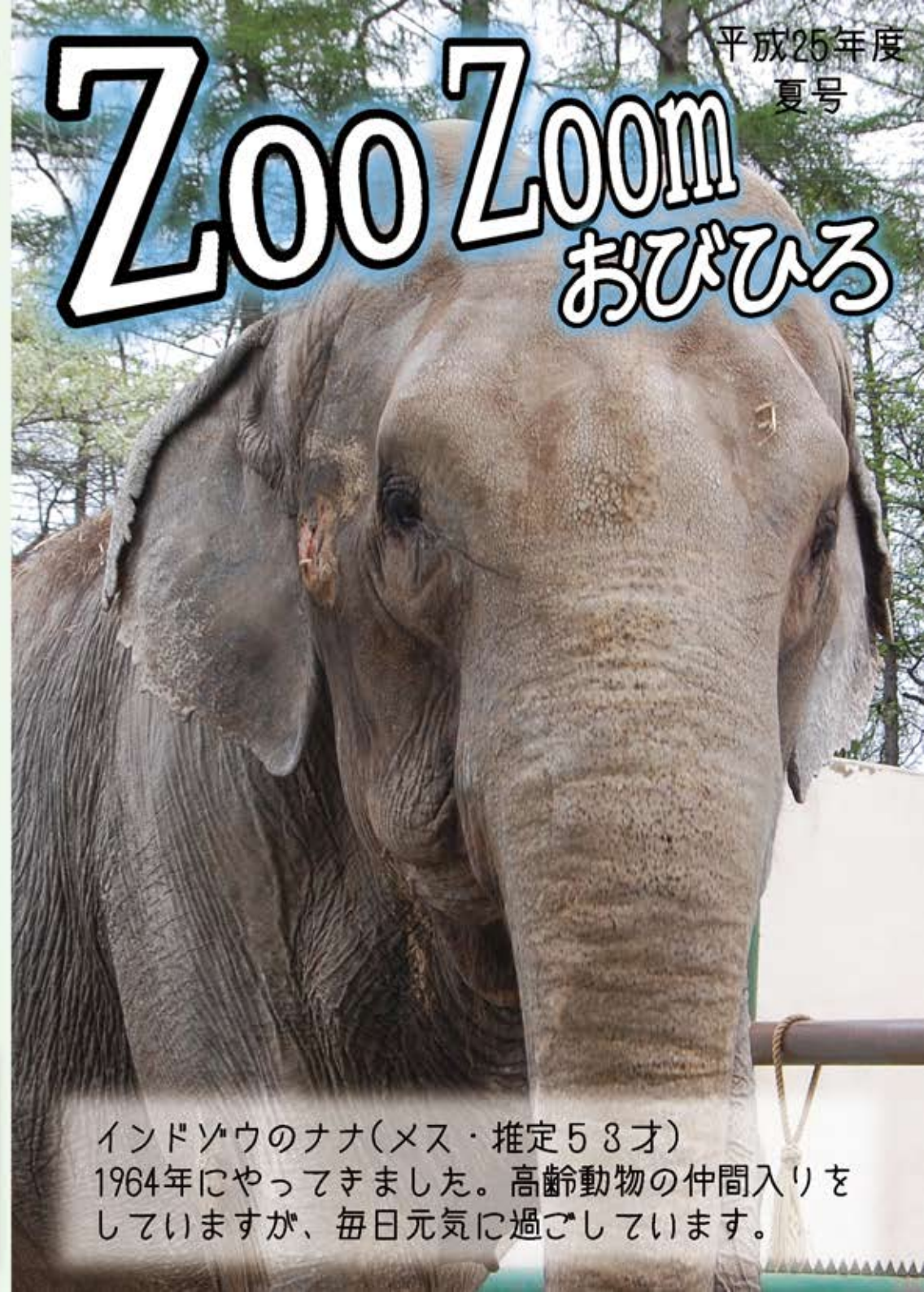
ホームページ: <http://www.obihirozoo.jp/>

ブログ: <http://www.mytokachi.jp/bp/obihirozoo/>

ブログ携帯版
はコチラから



インドゾウのナナ(メス・推定53才)
1964年にやってきました。高齢動物の仲間入りを
していますが、毎日元気に過ごしています。



ズームアップ!!
50周年

すごいで！むかしのあひひろ動物園

昭和39年「仮設のソウ舎」

昔は凄かったなあ、と感心してしまう写真を見て、当時の様子をふり返ってみましょう。



昭和46年9月「ソウのナナと綱引き」

写真の手前側にいる子ども80人と、奥にいるインドソウの「ナナ」が綱引きで力比べをしました。ちなみに、勝負の結果はナナの圧勝だったそうです！

昭和46年「動物を計る会」



飼育係みんなで押さえてニシキヘビの体の長さを計っています。その他にも色々な動物を計ってきました。

キリンの身長を計っているところ



ソウのお腹まわりを計っているところ



昭和41年「チンパンジーが氷の上でスケート!!」

5歳



当時全国的に話題になった「ターボ」5歳スケートを履いて氷の上をすべっています！運動能力の高さにも驚きです!!

8歳



8歳の時には変わったポーズも覚えたり... その後もステージで芸を披露する動物園の人気者でした。



まだ「ナナ」が小さかった当時は、直接ふれあえるくらい距離も関係も身近な存在でした。

「ナナ(奥)」と「ノン(手前)」



2頭のソウが仲良く暮らしていた時期もありました。『ノン』は平成8年に永眠しました。

「野外ステージでアシカショー」



アシカ舎の東側にある野外ステージ、昭和45年に建設され今もそのままの姿です。



カリフォルニアアシカの「ルル」はとっても器用！ボールや傘や、ラケットまで鼻先で持ち上げちゃいます！

あひひろ動物園は今年で開園50周年をむかえました。昭和38年当時はレジャー施設として開園しました。しかし、近年動物園は「楽しむ」ためだけでなく、種の保存の役割や、自然や環境について「学ぶ」ための場としての役割を担うようになってきています。「楽しかったね」だけで終わるより、「へー、そうなんだ。また来たいね」。そんな会話が飛び交うあひひろ動物園でありたいと願っています。



「ナナ」が動物園にきたころは事務所の前で飼育していました。仮設とはいえ簡素な作りに驚きです！